

「果実堂」に300万円
農業ファンド出資

ベビリーフ（野菜の若葉）の生産・販売を手がける農業ベンチャーの果実堂（熊本県益城町）は25日、三井住友銀行（東京）などが出資する農業ファンド「SMBCアグリファンド」から3千万円の出資を受けると発表した。

同社は2005年設立。現在、熊本県内の直営農場

のほか、北海道や東北の委託農場でベビリーフをハウス栽培している。ベビリーフはサラダ用として需要が伸びており、今後市場拡大が見込めるとい

う。出資は今月末に実行される見通し。同社はこの資金を農地拡大やトラクターなどの農機購入などに充てる計画で「現在年450トの生産量を、早く千トに拡大したい」としている。

25.11.26

西日本新聞